

## 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河中央中学校長

平成31年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語と数学に、今年度は英語を加えた3教科を実施しました。

昨年度までは、「国語A」、「数学A」（主に知識に関する問題）と「国語B」、「数学B」（主に活用に関する問題）に分けて実施してきましたが、今年度より、それらが1つにまとまった調査を実施しました。

また、中学校の英語は、今年度、新たに加わった教科で「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4領域の調査を実施し、「参考値」扱いである「話すこと」を除く3領域について集計されました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、並びに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、御理解と御協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることを御理解ください。

### 【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	72.8%					○
数学	59.8%	○				
英語	56.0%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	70.2%					○
書くこと	82.6%					○
読むこと	72.2%					○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	67.7%		○			

【考察】

- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域は、全国平均を上回りました。授業では、表現力の基盤の一つである語彙力の向上を目指しながら、自分の意見や考え方を自分の言葉で表現することを協働的に行ってきました。今後は、さらに活用力を高めるために、課題の解決に際し、既習事項を適切に用い、多様な言語活動を通して考え解決する力をつけていきます。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、全国平均をやや下回りました。封筒の書き方の問題において、正答の条件をすべて満たして正答となった割合が全国平均と比較して下回りましたので、日常生活で使う手紙の書き方や書写の基礎・基本となる事項についても細やかに指導することで、さらに確かな力を身につけられるよう努めていきます。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	63.8%	○				
図形	72.4%				○	
関数	40.8%		○			
資料の活用	56.3%	○				

【考察】

- 「図形」の領域は、全国平均をやや上回りました。基本的な知識は身につけていますが、条件を変え、統合的・発展的に考察し、新たな性質を見いだしていくことに課題があります。図形の性質を考察する場面では、筋道を立てて証明を書くことと併せ、証明を読むことを通して、論理的に考察し表現する力を高めていきます。また、証明を振り返り、新たな性質を見いだす活動を充実させていきます。
- 「数と式」「資料の活用」の領域は、全国平均を下回り、「関数」の領域は、全国平均をやや下回りました。週末課題や計算コンテストの実施を通して基本的な計算技能をさらに高めていくと共に、授業では、目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりする活動を充実させ、式を用いて説明する力をつけていきます。また、得られた結果を他の事象に当てはめて考える問題に課題が見られたため、事象に即して発展的に考える力を高めることができるよう指導していきます。用語の意味理解にも課題があるため、説明の際には用語の定義を適時確認し、その意味理解を深めると共に、何を根拠として説明するのがふさわしいか、判断する力をつけていきます。

【英語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
聞くこと	67.9%				○	
読むこと	55.6%					○
書くこと	45.8%			○		

【考 察】

- 「読むこと」の領域は、全国平均を上回りました。今後も音読や暗唱などの言語活動を充実させていきます。「聞くこと」は全国平均をやや上回りました。ペア活動やグループ活動において、他者と協働して学ぶ活動の工夫とALTを活用したコミュニケーション活動やスピーキングテストを継続して行い、コミュニケーション能力をさらに高めていきます。
- 「書くこと」の領域は、全国平均とほぼ同じとなりました。英文を正しい語順にしたり、否定文や疑問文などを場面に応じて工夫して書いたりする練習を継続して行います。また、自分の考えや体験を英語にしたり、友達の発表を聞いて、英語で感想をまとめたりする活動を取り入れ、書くことに慣れさせていきます。

**平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査  
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河中央中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、その結果及び考察の一部をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、是非、御家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

1 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかといえ ばしている	あまり していない	全く していない
中	全 国	14.9	35.5	37.3	12.2
3	白河中央中	18.9	50.0	26.4	4.7

(単位 %)

**【考 察】**

- 「している」と「どちらかといえればしている」を合わせると68.9%と全国平均の50.4%を大きく上回りました。今後も計画を立てて勉強することで目的意識を高めて、それが学習の効果につながるように支援してまいります。
- 今後も「自己マネジメント力を高める」をスローガンに、将来の自分、卒業後の自分、1年後の自分をイメージして、今、何をすればよいかを考えて自分の課題にそった目標や計画を立てて、自ら学習することのできる生徒の育成を目指し指導していきます。

2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中	全 国	9.9	25.6	34.3	17.2	8.4	4.4
3	白河中央中	12.8	27.0	47.3	10.1	2.7	0.0

(単位 %)

**【考 察】**

- 1時間から3時間程度の勉強をしている割合がおよそ87%となっており、家庭での学習習慣は身につけている傾向にあります。
- 今後は学習の量を増やしていきながら、質的な改善を図れるよう支援していきます。ご家庭でも励ましの言葉をお願いします。

3 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
中	全国	4.8	7.6	14.6	23.4	14.8	34.8
3	白河中央中	8.1	12.8	20.9	31.1	6.8	20.3

(単位 %)

【考 察】

- 全国と比較すると、「30分以上」が41.8%と全国より約15%多くなっていますが、「10分以上30分未満」のごく短時間での読書が多い傾向があり、全くしない生徒も約20%います。
- 日常的に本を手にとって読む傾向にはありますが、依然本に親しんでいるとは言えない状況がうかがえます。今後も朝の読書タイムを継続しながら、さらに図書室の利用を促したり、余暇の過ごし方に読書を取り入れるよう勧めたりしながら、本に親しむ態度を育ててまいります。

4 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中	全国	78.3	16.8	3.6	1.3
3	白河中央中	85.8	13.5	0.0	0.7

(単位 %)

【考 察】

- 本校の生徒は、いじめは、どんな理由があってもいけないことだという意識が高いことが分かります。この気持ちを行動にうつすことが大切であることを伝えていきます。
- 「当てはまる」が100%になることを目指して、道徳の授業だけでなく、学校生活の全ての場面で思いやりの心を育てていきます。